



こんにちは  
**渡辺みのる**です

1985年東村山市生まれ、29歳。

**日本共産党**

東村山市議会議員  
活動地域

恩多町・久米川町・全生園・野口町・多摩湖町

第8号(2015年6月号)



## 公立保育所の民営化で犠牲になるのは子どもたち

子ども不在の民営化推進はゆるされない

6月4日(木)、東村山市議会6月定例会が開会しました。改選後初めてで、私にとっても初めての定例会です。

私が、初めての一般質問で取り上げたのは、①公立保育園の民間移管、②戦後70年を迎えるにあたって、です。(②は次号)

公立保育所民間移管問題では、私の子どもが通う保育園も民間移管の対象になってしまいました。保護者のみなさんからは、「民営化されたらどうなってしまうのか不安」「市のやり方を不信に思う」との声があまりありました。

市は、民間移管の理由を、○民間活力の導入で多様な保育ニーズに答え、待機児解消のための財源の確保○保育士などの保育従事者の確保と、保育の維持・向上、としています。

しかし、どのような大義名分を掲げようと、民間移管により



### 自己紹介⑦

政治に関心をもつもう一つの大きなきっかけは、結婚をして子どもができたことです。24歳の頃でした。

当時アルバイトをしていた職場で妻と出会い結婚をしました。

アルバイトの身で子どもを産み、家庭を支えるのはとても大変でしたが、なかなか定職が見つからず、厳しい生活を送っていました。

立場の弱い人も等しく結婚をして、子どもを産み育てる。そのサポートをすることこそ政治の役割ではないかと考えました。 つづく

犠牲になるのは子どもたちです。運営事業者が変われば保育園の名前も変わり、保育内容も変わります。場合によっては保育園の場所も変わってしまう。もとあつた保育園は、名実ともに無くなってしまふということなのです。

このような状況に直面したら、子どもたちはどのような影響を受けるでしょうか。また、無視してはいけけないのは、卒園児が受ける影響です。特に、小学校に上がりたての子どもた

ちは、生活環境の大きな変化に不安と戸惑いを持っています。そんな子どもたちの心の拠り所となるのは、自分たちが卒園した保育園です。その保育園が無くなってしまったら、子どもたちはどれほどの影響を受けられるでしょうか。

こんな子ども不在の民営化は決して許されません。保護者や市民のみなさんとともに、民営化阻止に全力をあげます。

ブログ

<http://wminoru.exblog.jp/>

フェイスブック

<http://www.facebook.com/watanabeminoru>